

事例1-8

取組名	役員選出方法の見直し及び役員等の負担軽減		
町会名	ことぶきしらかわ 寿白川町会（寿地区）	町会 データ	・人口／1,634人 ・世帯数／704世帯 ・高齢化率／28.7% ・町会加入数／397世帯 ・常会数／9常会 ・隣組数／44組
取組概要	○ 一部の役職について、従来の選考委員会による選出を、常会からの持ち回り選出に変更 ○ 作業の委託、会議出席者の絞り込み、相談役の設置等により、役員負担を軽減		

背景・課題

- ・ 町会の単位高齢者クラブ「白寿会」は、歴代町会長OBが会長を務め、町会長などの役員を選出する「選考委員会」の委員長も担ってきた。
- ・ 白寿会は、会員が先細りのところへコロナ禍があり、活動が継続できなくなり解散。また、常会長は持ち回りのため、常会の様子を知らない新規転入者が担う場合も多くなり、選考委員会が機能しなくなっていた。
- ・ R6・7年度は、現町会長と前町会長で適格者の自宅を訪ね、役員就任を依頼してきたが、R7年度の民生委員の選出では、20軒近く訪問しても受け手がなかった。
- ・ 人と人との関係性の希薄化や町会への関心の低下などを背景に、役員選出が困難になっていることから、町会事業や役員の負担軽減が求められている。

経過・取組内容

① 役員の選出

町会内で1名だけ選出する役員のうち、「公民館主事」「育成会長」「館報編集委員」については、R2年度から町会内9常会の持ち回り選出とし、より身近な常会内で選出の調整をしてもらうこととした。

② 事業の負担軽減

維持管理を受託している白川農村公園につ

いて、従来は全町会員が交代で草刈り（年3回）を行ってきたが、R6年度からシルバー人材センターに作業を委託。代わりに6月の第1日曜日に、各常会内で一斉清掃（公園や道路、側溝等の清掃）を行うこととした。

③ 会議の出席対象者の絞り込み

町会の役員会は、月末の土曜日の夜に開催している。正副会長、会計、公民館長、主事の執行部のほか、常会長、防災部長、育成会長以外の役職者は必要な時機のみ出席するものとし、人数を絞っている。

④ 相談役の設置

令和8年度から町会役員OBによる「相談役」を設置し、役員選考や新たな役員が町会運営を行う際の「相談」に応じることにした。

成果・今後の展望等

- ・ 役員選出に関しては、持ち回りルールの運用と相談役の設置により、町会役員の負担は軽減されている。
- ・ 農村公園の草刈りを外部に委託し、身近な場所の一斉清掃に切り替えたことで、参加率の向上につながった。
- ・ 今後も常会長へのアンケートなどを取りながら、改善を継続していく予定。

【ポイント】

- ▼ 役員選出ルールの見直しや負担軽減により、町会の運営環境を改善